

番組審議会

第4回 BS よしもと番組審議会

■開催年月日 : 2022年 10月20日(木)

■開催場所 : BS よしもと株式会社 会議室

■出席した委員(敬称略)7名全員出席 *あいうえお順

大原鶴美 (プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー)

*リモート参加

川上和久 (麗澤大学教授)

久保博 (一般財団法人 日本スポーツ推進機構(NSPO)理事)

品田英明 (元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長)

清水義次 (建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役) *リモート参加

竹中ナミ(ナミねえ) (社会福祉法人プロップ・ステーション理事長) *リモート参加

山田秀雄 (山田・尾崎法律事務所 弁護士)

■議題

1. 開会の辞 (審議委員長)
2. 開会の挨拶(稲垣社長)
3. 編成関連の報告(10月改編の説明、番組種別、比率の報告及び字幕付与率の報告)
4. 視聴者からの反応の共有(コールセンターレポートより)
5. 番組審議 対象番組「笑福亭仁鶴一周忌追善特別番組 第一夜」8月22日(月)放送
6. 閉会の挨拶(泉副社長)
7. 事務局からの連絡事項
8. 閉会の辞 (審議委員長)

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣より、開局より半年が経ったところで10月改編を行ったことが報告され、審議会をスタートした。

■審議の経過の概要等

1. 編成関連の報告

編成制作局長より、以下について報告し、全審議委員に理解された。

- ① 番組種別ごとの放送時間・比率について配布資料を基に説明
- ② 10月改編の内容について、ポイントと新番組を映像を交えて説明

<BS よしもとが目指す3大方針>

- ・地方創生に貢献する
- ・番組が雇用やビジネスを生む一番組一起業を目指す

・ファミリー、若者に支持される局を目指す

<改編内容>

・視聴者の生活パターンを意識した編成

・24 時間編成の実施

・21 時台、23 時台のタイムテーブルをリニューアル

・以下の新番組等をスタート

「チーキーズイブニング」月～木 17:30～18:00

「Y-Tube 大賞」 月～金 24:00～25:00

「再発見！みっけばなし」 日 8:30～9:00

③ 字幕を付与している番組についての現状を報告

審議委員からは、24 時間放送となった理由が質問され、局長より、多様な視聴者のニーズに応え 24 時間優良なコンテンツを幅広い視聴者に提供するための変更であることが説明され、理解された。

また、字幕放送についての視聴方法の質問もあり、併せて金田役員より説明され、理解された。

2. 視聴者からの反応の共有（コールセンターレポートより）

考査部より 7 月～8 月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーを報告し、全審議委員に理解された。

また、一部の審議委員からは、問い合わせを寄せた視聴者の特徴として、20 代～30 代の女性を始め、若い視聴層からの問い合わせが多いことも局の特徴あることが質問され、視聴データからも見られる特徴であることを説明し、確認された。

3. 番組審議

対象番組「笑福亭仁鶴一周忌追善特別番組 第一夜」8 月 22 日（月）放送

初めに、対象番組について、取締役と編成・制作担当者より、以下のような編成意図と番組概要の説明が行われた。

昨年 8 月に逝去された笑福亭仁鶴師匠を偲び、なんばグランド花月で行われた追善落語会の模様を 8 月 27 日土曜日の午後帯で編成する際、地方創生、地方色豊かな番組編成、BS よしもとの独自色を創出できるような番組編成を心がける中で、殿堂入りした上方落語としての仁鶴師匠ご本人の魅力をもっと伝えたいという思いから、社内に存在する落語本編とインタビュー映像のアーカイブを利用し、地上波では放送される機会の少ない落語番組を、敢えてゴールデンの帯で月曜日から金曜日の 5 日間放送し、通常の 4 倍の視聴量を獲得した。

上記の説明に続いて、審議委員長の司会により、各審議委員から寄せられた質問、意見に

回答を行う形式で番組審議が進行した。

全審議委員からは共通して以下のような高評価が寄せられた。

- ・BS よしもとのレベルを底上げするような、大変クオリティの高い番組で感動した。
- ・これまで仁鶴師匠の落語をじっくり聞いたことがなかったため、大変貴重な機会だった。
- ・今まで未知だった上方落語の魅力を認識することができた。
- ・本編の落語のクオリティがあまりにも高いため、導入部分で笑福亭仁智師匠が語っている場面ももう少し豪華なセットにしても良かったのではないか。
- ・芸能・大衆娯楽ではあるものの、芸術の域に達しており、芸術と芸能の間について考えさせられる番組であった。
- ・今後もこのような価値の高い番組を積極的に編成し、若い視聴層も含め視聴者数を増やしていってほしい。

これらの意見に対し、取締役より以下のコメントを回答し、審議委員に理解された。

- ・今後は、若い視聴者へのアプローチも意識し、より多くの視聴者に届けられるよう心掛けたい。今回、予想以上に反響を得られたため、今後も上方落語の魅力を発信できるような企画を積極的に仕掛けていくことを考えている。

最後に次回の開催時期を確認後、弊社副社長 泉による閉会の挨拶を受け、審議委員長による閉会の辞が述べられ、審議会が終了となった。

■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2022年11月現在

川上和久（委員長／麗澤大学教授）

山田秀雄（副委員長／山田・尾崎法律事務所 弁護士）

大原鶴美（プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

竹中ナミ(ナミねえ)（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

以上